

プロジェクトマネージャー：藤井 彰人 PM

(グーグル株式会社 エンタープライズ プロダクト マーケティング マネージャー、
Mashup Awards 1-4 主宰)

1. プロジェクト全体の概要

目的

従来型アプリケーション開発手法やテクノロジーでなく、新たな情報価値の創造やコンピューティング・リソースの新しい活用方法に注目し、グローバルに通用するクリエイターを発掘し育成することを目標としている。公募内容は以下の通りである。

1) 情報の価値に着目したWebアプリケーション、システム基盤ソフトウェア

Network上に広がる様々な「情報」を活用し、新たな「価値」を創造するWebアプリケーション。(ex. Mashup アプリ等)

2) Cloud Computingを実現、活用するための基盤ソフトウェアまたはアプリケーション、Webサービス

Cloud Computingを実現するためのPlatform技術、ソフトウェア、またはCloud Computing Platform を活用した実用的なアプリケーション、またはサービス。(ex. Cloud管理技術、Cloud 上での開発基盤、既存基盤技術とCloudとの連携技術等)

3) Open Technology を活用した世界に通用するソフトウェア、アプリケーション、Webサービス

日本におけるサービスやテクノロジーの特色を生かしつつ、世界に通用するアプリケーション。または地域、コミュニティ横断的なアプリケーション、Webサービスをねらい様々な新規サービスが国内で提案されるものの、グローバルな観点から、開発後の発展性の低いものが数多く見受けられる。本プロジェクトでは、提案そのものの先進性を具現化するだけでなく、未踏プロジェクト以後、ビジネスや海外での展開可能性をさらに広げる事に注目して、プロジェクトの運営、クリエイターの育成を行った。

成果内容の報告、開示は、Web、Demo video を英語で作成することを必須とし、「開発だけで終わり」とならないように留意した。

プロジェクトの評価

今回のプロジェクトでは、3つのプロジェクトを採択したが、いずれのプロジェクトも公募対象内容に2つ以上合致しており、大変ユニークなプロジェクトである。

- 1) 単機能入出力デバイスをマッシュアップするインターネットサービス (Trangram)
- 2) 時系列センサデータベースシステムTIVAの開発
- 3) BlueFairy: 場所共有型SNSプラットフォームの開発

詳細は個別プロジェクト毎に後述するが、いずれのプロジェクトも、当初予定していた開発目標を達成し、今後のさらなる発展性も高く期待できるものとなった。これら3つのプロジェクトは言語依存度の低いものであり、いずれもグローバルにアピール可能なものに仕上がっている。

2. プロジェクト採択時の評価(全体)

採択時の評価

公募プロジェクトの中から、前述したMashup、Cloud、Open Technology3つの視点に加えて、クリエイターの本プロジェクトにかける意気込み、開発体制と開発スキル、今後の発展性の3つの視点を加えて、3つのプロジェクトの採択に至った。

本プロジェクトの特徴として、提案当初のサービスのアイデアよりも、その元となるコンセプトの、今後のプラットフォーム、インフラコンポーネントとしての発展可能性を重視している。このため、採択時には各提案にこの点も評価対象となったことについて触れておきたい。

- 1) 単機能入出力デバイスをマッシュアップするインターネットサービス (Trangram)

Mashup アプリケーションの多くは、インターネット上で提供されるWeb API経由での情報の加工にのみ注目したものが多く、本提案は単機能デバイスそのものをMashup対象と考え、インターネット上でこれらをMashupするという提案で大変ユニークである。Mashup、Cloud という2つの要素を含んでおり採択することとなった。

玩具の研究開発を通じて育まれた、衣川氏の新しいDevice Mashup Platform というアイデアは、実現可能性も高いものであったが、UIやプラットフォームとしてのテーマ設定などを未踏プロジェクトでの開発期間中にさらに改善する必要があった。

- 2) 時系列センサデータベースシステムTIVAの開発

昨今のWebアプリケーションにおいては、大量の情報をいかに効率よく扱うかが課題となっている。様々なKey-Value Store系のソフトウェアが開発されるなか、今後の更なるデータ爆発を引き起こすであろう、センサーデバイスからの情報を気軽に取り扱えるインフラ

ソフトウェアが存在していない。過去にも時系列データの汎用データベースに関する研究は多数存在するが、本提案は対象をセンサーデバイスに限定し、検索、格納効率のよい気軽に利用できるデータベースシステムの構築を目指している。今後のCloudを支える技術としての発展性だけでなく、Open Source Softwareとして可能性を備えており、採択に至った。

未踏本来のテーマであるソフトウェア基盤技術に対する提案である高木氏の提案には、対象ユーザの絞り込み、競合となりうる他製品との比較という観点が欠けており、明確な数値目標設定と実装機能の絞り込みと改善が必要であった。

3) BlueFairy: 場所共有型SNSプラットフォームの開発

携帯電話やPCなどに既に搭載されているBluetooth デバイスにおける個別認識可能なMACアドレスに注目し、SNS アプリケーション開発のための基盤を構築という提案は、個別サービスの開発提案に留まらない発展性のある内容となっており採択に至った。

複数回に及ぶ岩崎氏の提案内容から、本プロジェクトにかける強い意気込みが感じられたものの、Bluetoothに着目したアプリケーションサービスの提案が多数存在する中で、本プロジェクトがどのようなキラーサービスを提案できるのかが開発期間のテーマとなった。いずれのプロジェクトもコアとなるアイデアを重視し、採択後の未踏開発期間中に、外部有識者からのアドバイスを求める等して、それぞれの課題を解決して行く手法をとることとした。

3. プロジェクト終了時の評価

採択した3プロジェクトともに、開発期間中の遅れはあったものの、当初の開発目標内容を全て達成した。主な成果物であるソフトウェアのみでなく、追加として課した製品、サービスを紹介する英語のWeb pageや、Demo Video等の作成も完了し、この点でも目標以上の成果を達成していると言える。

以下個別に評価概要を記述する。

1) 単機能入出力デバイスをマッシュアップするインターネットサービス (Trangram)

当初目標としていた、単機能入出力デバイスの基本設計、ルータ装置、Cloud上に実装されたMashup Tool全ての実装を実現しただけでなく、デバイスの小型化、キラーサービスの開発、Toolインタフェースの大幅な改善を実現した。

クリエイターのためのプラットフォームを当初想定していたが、汎用的なサービスに仕上がっているため、実用的なビジネス分野での展開も可能である点にも言及しておきたい。PM

の想定結果を超える開発内容を達成しており、その成果は高く評価したい。

2) 時系列センサデータベースシステムTIVAの開発

開発の目標としていた高速かつコンパクトな時系列センサデータベースと、誰もが簡単に利用できるインターフェースの開発を実現した。プロジェクト期間中に設定した既存key-value storeよりも高性能なエンジンの開発も達成し、これを高く評価したい。従来型Webアプリケーション開発者が簡単に利用できるSQLインターフェースの開発は今後の対応すべき開発項目である。

3) BlueFairy: 場所共有型SNSプラットフォームの開発

プロジェクト開始当初から課題となっていた、キラーサービスの考案に時間を要したものの、Bluetoothの情報をベースにした汎用サービスプラットフォームの開発だけでなく、3つのSNSサービスの実装を実現した。提案当初は、サービス単体の提案であったが、開発期間中に様々なサービスを開発できる汎用サービスプラットフォームを開発、実装したことを高く評価したい。Bluetooth MACアドレスを活用して今後どのようなサービスを作り出せるかにも注目したい。最後に、採択4プロジェクトのクリエイターには、日本語だけでなく、英語での成果内容のWeb開示を課しており、結果、全てのクリエイターが英語での説明資料を作成し、かつWeb、動画で成果を開示していることを報告したい。これは未踏の成果を海外に向けてアピールする意味でもとても重要なことであるとする。